

# 学校ICT お悩み相談室③

Q ICTを使えるだけではなく、子どもに力がつくよう、もっと効果的なICT活用を校内で広めたいのですが、どうすればよいでしょうか？



お答えします！

**森 達也**  
NPO法人全国初等教育研究会  
(JEES)副理事長/  
ICT CONNECT 21  
アライアンス団体会員

連載監修  
ICT CONNECT 21  
事務局

「教育の情報化」に関する皆様にオープンな場を提供し、コネクして教育をよくしていく団体。

## ▼成功事例から見える工夫

ICTが日常的に活用され、子どもにも力がついている学校には、共通点があります。照らし合わせてみることで、今何が足りないのかが見えてくるかもしれません。成功している学校から学んだことを三つに分けてお伝えします。

(1) 「ICT活用」という視点だけで考えない

ICT活用の推進！という視点で広めようとする、ICT機器

に詳しくならなくてはという気持ち先行してしまい、負担に思う先生も出てしまいます。

まずは授業で伝えにくいとか、指導がむずかしいことを解決する一つの方法という視点で、先生方の身近な困りごとを聞くところから始めてみてください。

そのときに、一番活躍するICT機器は実物投影機です。理由は、今使っている身近な教材をすぐに活かせる道具だからです。たとえばノート指導でのICT

活用です。マス目の使い方や、日付け等を書くルールを、子どもと同じノートを実物投影機で映し、書き込みながら説明してみると、短い時間ですべての子どもたちに伝えられます。ノート指導に苦勞している先生がこの便利さを知れば、よさがすぐに伝わり、次にはどの場面ですつたらよいか、自らアイデアが出てくるようになります。

最初は、「最も身近な教材を活かすためのICT活用」という視点から事例を校内で共有することがポイントになります。

(2) ICTを意図的に活用する  
使つていこうという気持ちが共有されたら、次は「○○の効果があるからICTを活用する」という、最初に便利だと思ったときの気持ちを思い出し、それを意図的に授業に組み込めるよう確認し合うことです。

「ノート指導の徹底に効果があるから」「漢字を丁寧に書くことに効果があるから」というよう

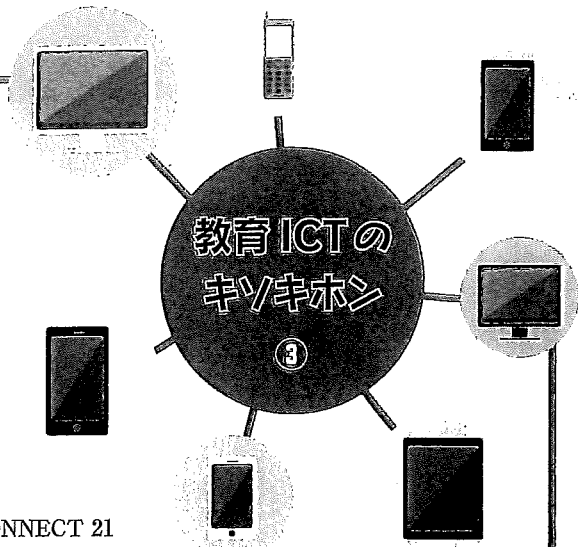
に、具体的な効果場面を意図的に授業に組み込んでいきます。

(3) 模擬授業を取り入れた校内研修を行う

校内で共有する手段として校内研修が重要ですが、とくに効果があるのは、模擬授業を取り入れる方法です。

先生と子ども役を決め模擬授業を受けることで、効果的かどうかを体験できます。全校での研修がむずかしければ、同じ学年の先生など少人数でやるのもよいでしょう。効果的場面だと思つていても、実は教室の後方席からは見え、効果が薄かったとか、ICTを使わずに板書するほうがわかりやすいと気づくのも、模擬授業の研修ならではの強みです。

このような研修を専門家に依頼する方法もあります。私もJEEESでは、効果的な研修を体験できる講師派遣活動をしています。研修内容等についてもご相談に応じますので、お気軽にお問い合わせください。



監修：  
ICT CONNECT 21

## 権利処理不要のサイト と使用の注意

我妻潤子  
ICT CONNECT 21 普及推進WG、学習資源・データ  
利活用SWGメンバー

できる資料のあるサイトを紹介したいと思う。

### ① 著作権法35条以外での利用について

著作権法35条第1項では、授業の過程内での「複製(コピー)」について、一定の要件を基に、権利者の許諾を得ずに利用してもよいと謳っている。これが「学校だから大丈夫」というイメージの根幹だと思われる。しかし、学校HPへの掲載、反転授業などで利用する場合は、法律上で定められた「授業の過程」ではないため、「学校だから大丈夫」ではなくなってしまう。

例えば、校歌の場合、校内で斉唱するために歌詞をコピー(複製)して生徒に渡したり、伴奏演奏のために楽譜をコピーしたりすることは権利者の許諾がなくても、当然問題ない。しかし、学校のHPに歌詞を掲載するような場合には「権利処理」が必要になる。作詞・作曲者がJASRACの会員・信託者であれば「校歌に関する音楽著作物利用許諾申込書」を提出するだけである。これはそれほど大変な作業ではないだろう。

一方で、公開授業などの様子を撮影した写真などを学校のHPに掲載する場合、撮影された写真に写っている資料が、①著作物かどうかを判断し、②権利処理が必要な使われ方であるかを判断し、そのうえで③権利者を探し出して利用許諾をとる、という作業が生じる。

### ② 権利処理不要の資料のあるサイト

本稿では、こういった「権利処理」をしなくても学校で使える範囲と、学校で使える範囲を超えても権利処理をせずに利用